

# 令和5年度（2023年度）社会教育スキルアップ研修会 第2回 事業報告書

## I 事業の概要

### 1 事業名

令和5年度（2023年度）社会教育スキルアップ研修会 第2回

### 2 開催日時

令和5年9月8日（金）13:50～16:40

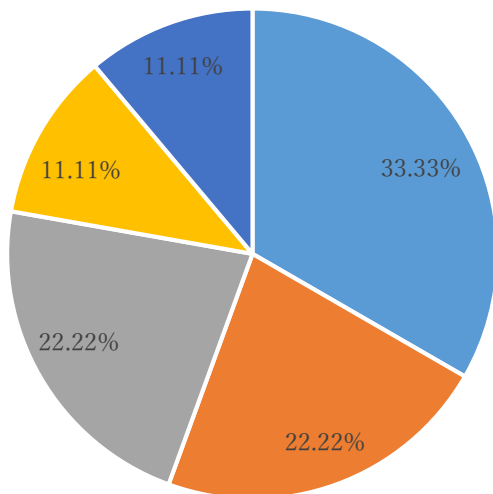
### 3 開催場所

道民活動センタービル かでの2・7（8階 創作実習室）

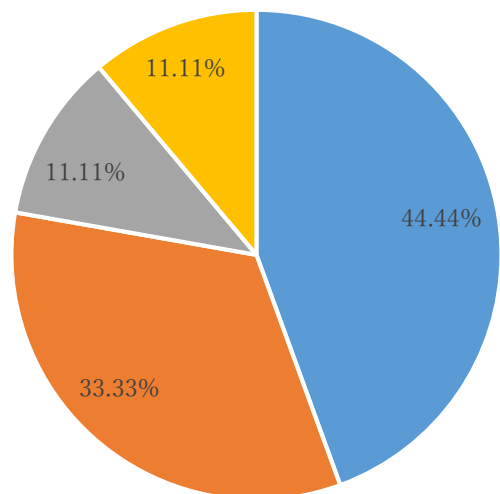
### 4 参加人数

9名（うち事前講義のみ3名）

### 5 参加者の区分・経験年数



■ 社会教育主事  
■ 教職員  
■ 行政職員  
■ 団体職員  
■ その他



■ 1～5年目  
■ 6～10年目  
■ 11年目～  
■ その他

### 6 プログラム

講師：環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道） 溝渕 清彦 氏

オンデマンド配信 9/1～8

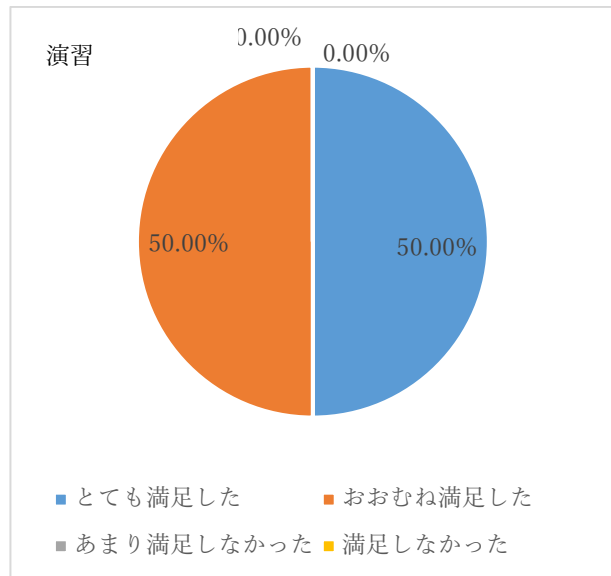
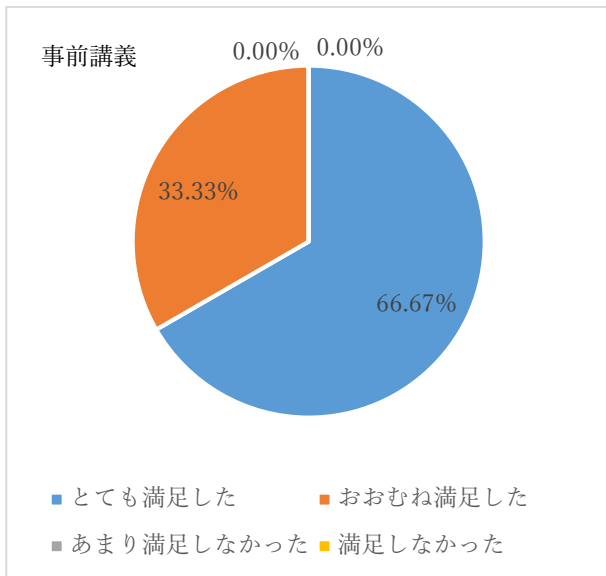
事前講義  
「気候変動についての基礎理解」

	13:30	13:50	14:00		16:30
9/8	受付	開会	演習 「気候変動のミステリー」		閉会

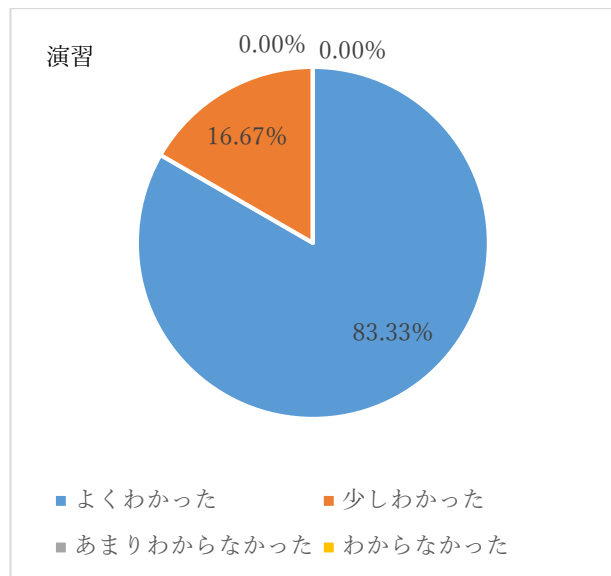
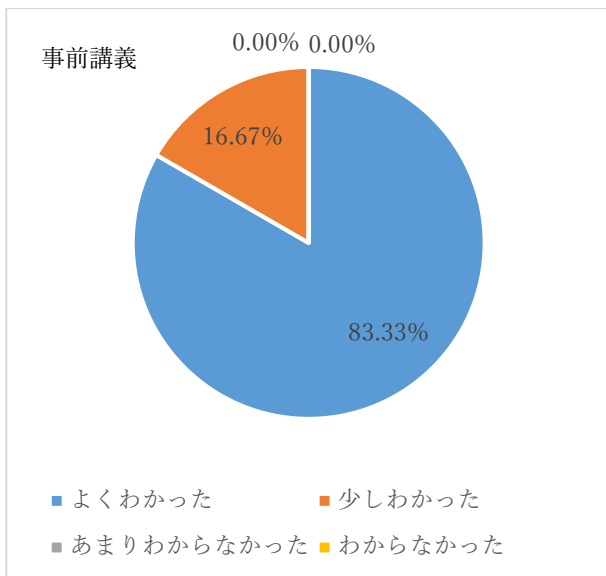
プログラム	内容
事前講義	SDGsと、その中でも重要な位置付けである「気候変動」に係る基礎知識、また、環境省が提唱するローカルSDGs「地域循環共生圏」等についての解説
演習	学習プログラム「気候変動のミステリー」を体験し、ファシリテーションで学んだことを実践しながら、気候変動に関する学びの場づくりのヒントを得る

## II アンケート結果

### 1 満足度



### 2 理解度



- 3 事前講義「気候変動についての基礎理解」について、理解した点や気づいた点（自由記述）
  - ・色々と環境、社会、経済が影響している。
  - ・sdgs の各ゴールの関連性や、キーとなるポイントがわかった。
  - ・ウエディングケーキモデルというのを初めて見た。SDGs 各目標を構造的に理解することができた。
  
- 4 演習「気候変動のミステリー」について、理解した点や気づいた点（自由記述）
  - ・気候変動の対策で、緩和と対応の中で自分にできる節電に力を入れる。
  - ・事象の背景に目を向け、そこから考える大切さ。
  - ・より身近で実感の湧く北海道版があれば、演習の効果がより高まるのではないかと感じた。
  - ・内容が高度で対象は高校生以上になると感じた。カードの内容を工夫してより低年齢層向けに改良できる余地も大いにあると思った。
  - ・いろいろな視点から出される意見があって面白かった。
  
- 5 社会教育スキルアップ研修会全体を通しての感想や気づいた点（自由記述）
  - ・気候変動が、色々な要件があることが分かった。CO<sub>2</sub>を削減することと、災害に備える準備も必要と感じた。
  - ・ミステリー、ファシリ、そして司会も学びになった。
  - ・たいへん楽しく学ぶことができた。ファシリテーションについて改めて学ぶことができて良かった。気候変動については、原因や対策の部分についても学べるとより深まったかと思う。
  - ・様々な視点を持った参加者がいたことで、活発な意見交換も行われ、ファシリテーションを学ぶ有効的な場であったと思う。
  
- 6 本研修に参加しようと思ったきっかけ、動機（自由記述）
  - ・興味があった。
  - ・課題のツボのみつけ方、協力して取り組む方法をみつけたかった。
  - ・ミステリーの手法に興味があった。
  - ・今年度より新たに気候変動適応担当となったため、勉強も兼ねて参加しようと思った。
  
- 7 対面での研修を開催する際、どのような状況なら参加しようと思うか（自由記述）
  - ・札幌の中心部、時期は2023年度であれば11、12月か。
  - ・今回のように午後だけ・午前中だけといった形であれば、業務の合間で参加しやすい。
  - ・繁忙期でないほうが参加しやすい、札幌なら開始時刻が早くないほうが参加しやすい。
  
- 8 今後の研修で取り上げてほしいテーマ（自由記述）
  - ・事象の関連性と課題の発見の次のステップ 例) 仕組みの変革、政策の反映など。
  - ・気候変動の「緩和」について。